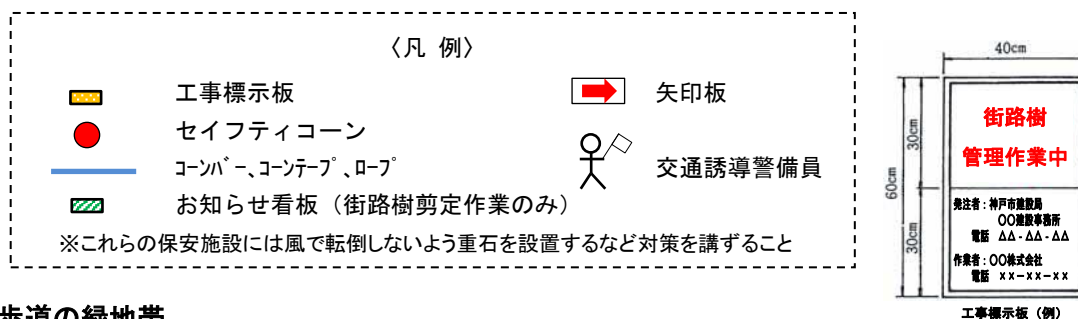


(参考資料)

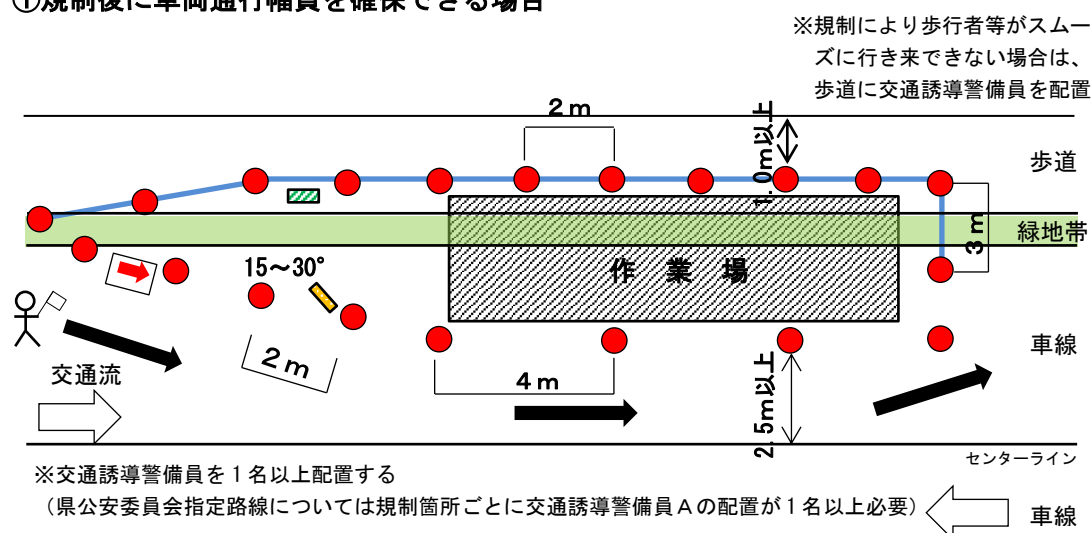
保安施設等の設置、交通誘導警備員の配置方法



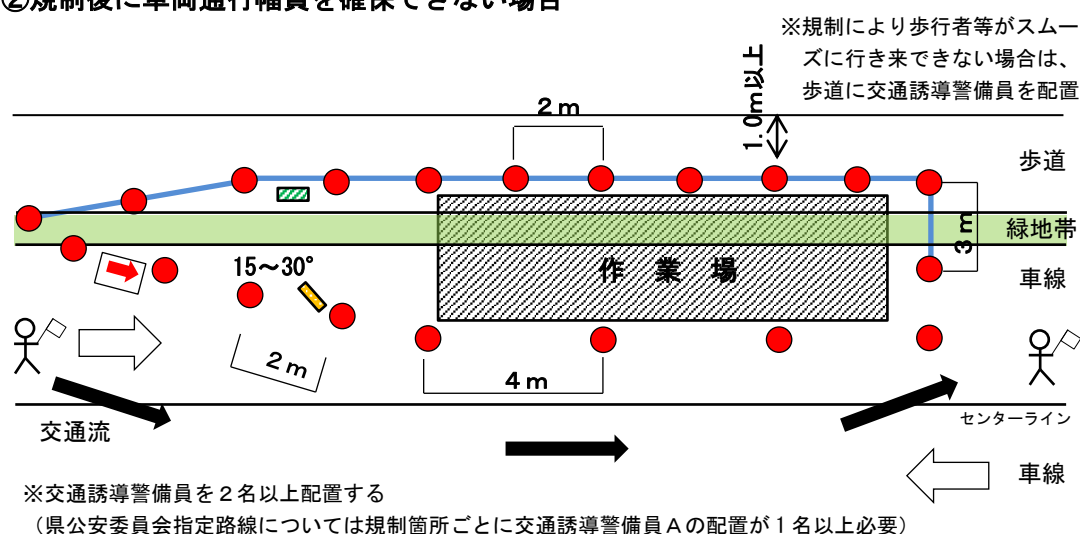
1. 歩道の緑地帯

(1) 片側1車線道路

①規制後に車両通行幅員を確保できる場合



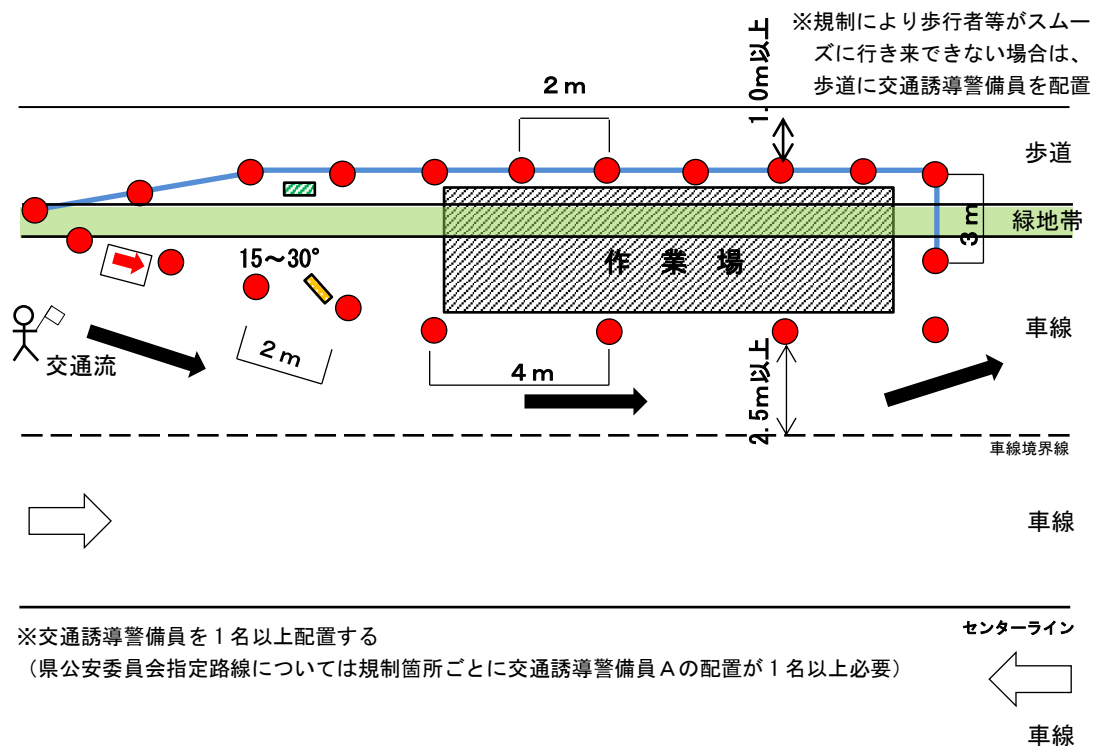
②規制後に車両通行幅員を確保できない場合



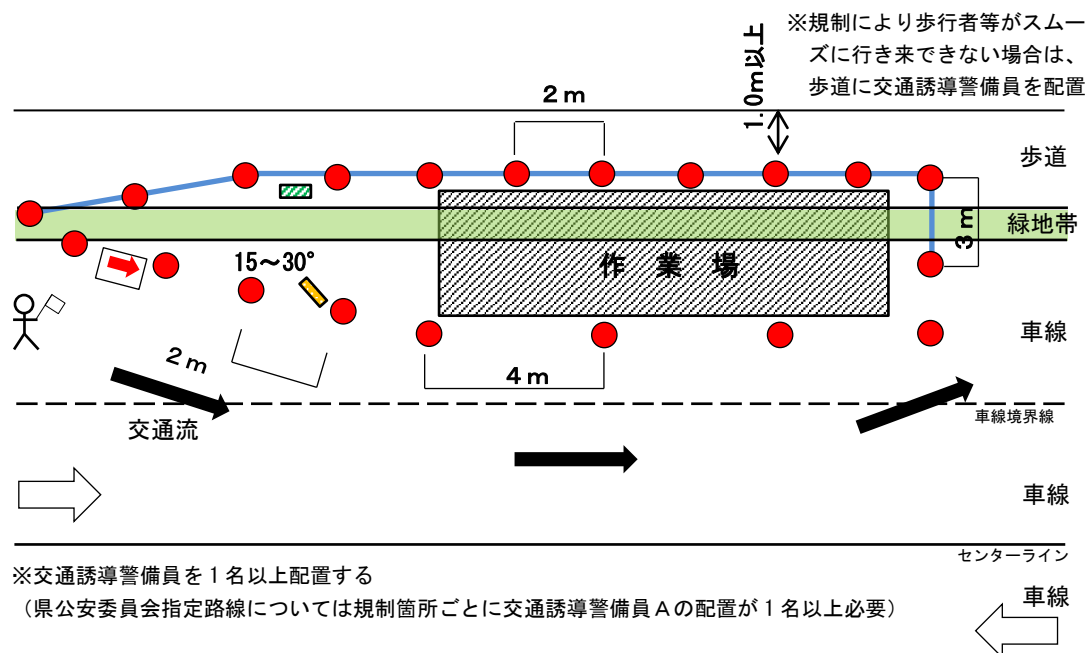
(参考資料)

(2) 片側2車線道路

①規制後に車両通行幅員を確保できる場合



②規制後に車両通行幅員を確保できない場合

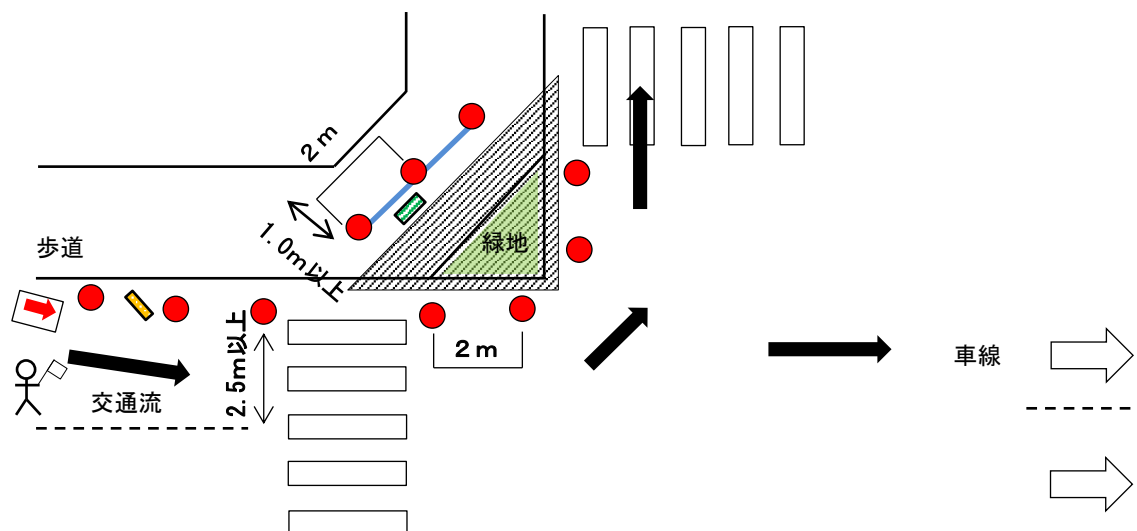


(参考資料)

(3) 交差点内

※車両は交差点外に停車し、(1)(2)に基づき安全管理を行う。

※街路樹剪定作業でやむを得ず歩道に車両を乗り上げる場合は、舗装面を傷めないように養生する。

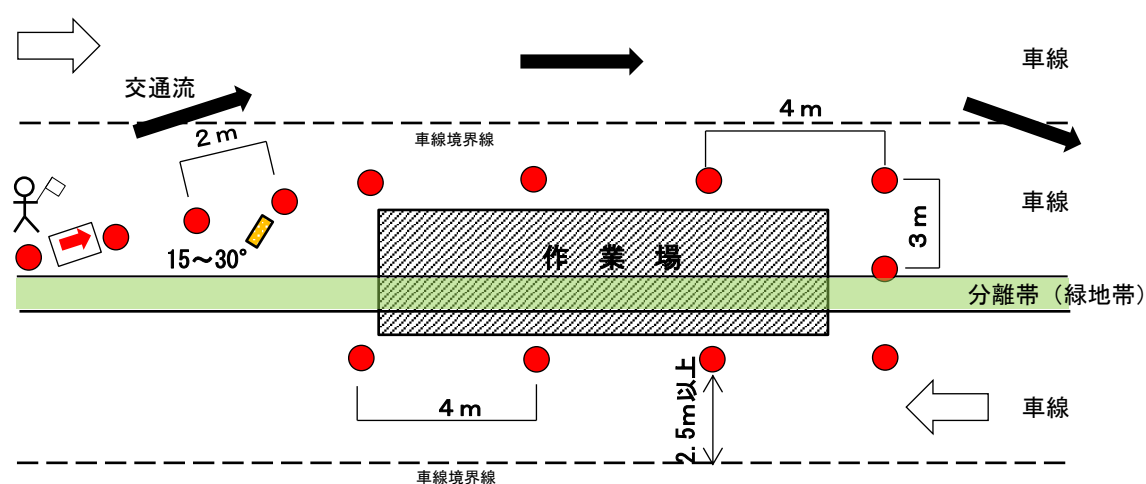


※交通誘導警備員を1名以上配置する

(県公安委員会指定路線については規制箇所ごとに交通誘導警備員Aの配置が1名以上必要)

2. 中央分離帯の緑地帯

片側2車線道路



※交通誘導警備員を1名以上配置する

(県公安委員会指定路線については規制箇所ごとに交通誘導警備員Aの配置が1名以上必要)